

W11c あかり全天サーベイ画像データ公開サーバ(AKARI-DAS)の開発

吉野 彰(宇宙航空研究開発機構)、山内 千里(自然科学研究機構)

DARTS(<http://darts.jaxa.jp/>)は、JAXAの様々な科学衛星のデータを研究用に公開するデータアーカイブシステムであり、宇宙科学研究所科学衛星運用・データ利用センター(C-SODA)が運用している。我々はその一つとして赤外線天文衛星「あかり」のデータを公開し、ユーザが必要なデータに素早くアクセスできるよう、高速で便利な検索機能の開発に力を注いでいる。「あかり」観測データは2008年3月から順次公開され、上記URLから誰でもアクセス可能である。

2010年3月には全天サーベイで検出された天体のカタログを様々な条件で検索できるAKARI Catalogue Archive Server(AKARI-CAS)を公開し(山内+ P06b 2010年春; 本学会山内氏のポスター参照)、今年度からは画像データ用のアーカイブであるAKARI Data Archive Server(AKARI-DAS)の開発に着手した。

我々は、ユーザがDAS/CASの区別を意識する事なく容易にFITSデータ等にアクセスできるよう、DASとCASが連携するシステムの開発を予定している。AKARI-DASで公開を想定しているデータは、現在「あかり」プロジェクトチームが処理を進行させている高次処理済みサーベイ画像とスキャン密度マップである。前者は、全天サーベイの生データに感度補正や位置較正などの高次処理を施したFITSファイルであり、現在「あかり」プロジェクトチームが処理を進行中である。後者は、カタログ作成に伴って作成される全天サーベイのスキャン回数状況を表す画像であり、今年度中の公開を予定している。

このポスターでは、AKARI-DAS開発の現状に加え、現在C-SODAで検討している、DAS/CASを含む「あかり」データアーカイブシステムの将来構想についても発表する予定である。